

僕らの情熱時間

今なお続く
小学校時代からの強い絆

— 小学校の同級生で現在も定期的につどわれるというのは大変珍しいですよ。ね。どのくらいのペースで、いつもは何名集まっていますか？

佐藤 私たちは4年生から6年生まで一緒のクラスだったんですが、クラスメイトの一人である浅野史郎君の宮城県知事立候補・選挙をきっかけに声をかけ始めまして、あれ以来全国に散らばったクラスメイトたちと、4年に一度集まることになったんです。クラス自体が60人くらいいますね、その内の30人くらいは集まりますよ。仙台メンバーでは結局毎年やってくるかな？

遠藤 そうそう(笑)

佐藤 今年で65歳になりますけども、それぞれがそれぞれの立場で、今でも第一線で活躍していますよ。

白鳥 私は現在旭ヶ丘で不動産を営んでおりまして、30年近くなりますかね。今思えば昔は皆、貧乏だったね。22年に生まれ

これまでの整理
これからの道標に

— 清月記の「エンディングノート」は人生を大きく4つに分け、「私の生い立ち」「大人になってからの私」「これからの私」「私のエンディング」という構成になっていますが、実際に内容を見てどう思われましたか？

佐藤 何かを残すということに対して、断片的に思ったことはあったんですけど、こうやって色んな項目を目にすると、そういえばこれもあった、これも書いておかないかと気づきました。過去の整理がつかますし、未来への指標も打ち立てられるように助かるなと。

遠藤 私はこのようにまとまっているのは初めて見ました。素晴らしいですよ。各家庭に一冊あってもよいのではと思います。これからやりたいことまで考えることで、死に対するイメージが変わると思うんです。日本人はよく縁起が悪いからと言って、生前に相続などの話をしたりしませんから。だからこのノートで見つめるのは「死」ではなくて、これからの人生をどう生きるのかってことですよね。

白鳥 よく私が友達と話す時にね、「自分史」っていう話が出てくるんですよ。今回事務所の引越で色々整理してまして、結局どれがあるかわからないか荷物を



清月記オリジナルのエンディングノート。自分の歴史や家族への思い、これからのプランなどについて綴ることができる。



木町通小学校の卒業アルバム。昭和20年代後半から30年代前半にかけて、当時の生活や教育の様子が写し出されている。



「人生を振り返ると今が一番老けているけど、これからは見れば今が一番若いんですよ」(遠藤)



左/白鳥憲治 株式会社リビングネットワーク 代表
中/遠藤美(よし) ホームヘルパー資格取得後、福祉等様々な分野で活動
右/佐藤四郎 株式会社プランニング・オフィス社 監査役

【仙台新寺斎場 清月記にて】



木町通小学校同級生
竹馬の友と語り合う「今まで」と「これから」

今回お集りいただいた3名は、木町通小学校時代を共に過ごした同級生。50年を超える長い付き合いの中で同じように感じてきたこと、それぞれ歩んできた道、そしてこれからの生き方について語り合っていました。

(聞き手/りらく編集長 田中志津)

て、高度経済成長で、その内パブルで浮かれてとんでもない時代になって、いつべんに世界が変わって。今は大変な時代だなど思いますね。

遠藤 私が小さい頃は、日本中に孤児の子たちがいっぱいいたんですね。だからデザイナーになってフランスに行って、お金持ちになって、孤児の子を皆養子にしたいっていうのが夢だったんです。デザインへの勉強をしていた時に縁があって結婚して、それから物販とかで働いて。3年くらい前からホームヘルパーの資格を取ったり、グループホームの世話人をやったりして。

白鳥 40代、50代突っ走って先頭に立って、同級生は皆疲れて年とって、白髪が増えて、病気にもなって……我々3人は幸い元気ですけどね。

佐藤 そうですね。

白鳥 今の時代をリードしていく人間、導く人間が必要だと私は思うんですよ。想いのバトンタッチというか、リレーとして、子どもが継いでくれるのであればね、心おきなく自分の人生のエンディングを迎えられるかなと思いますね。

選り分けて。いつもは全部捨てるんですけど、今回は「自分史」っていうのが頭にあったもんで選別を……はたから見ればゴミなんですけど(笑)そういう発想の延長にこのノートがあるのかなと。エンディングを迎えるにあたっての完結版というか。

遠藤 そうそう。「自分史」だったり、言い方は違っても結局何かを残したいって皆思ってる。このノートだと網羅されている感じがしますよ。

白鳥 だから今回のテーマは非常にタイムリーだね。今ここで、自分の生き様を整理しておかきやと思っていたところでしたから。財産とか法律上のただの相続じゃなくて、心が通うような内容が、想いが添付してあれば、バトンタッチがうまくいくんじゃないかと思うんですよ。遺言っていうと重くなってアレですし、面と向かっては子どもに言えないことも、もっと軽く身近にね。

佐藤 いつかは、って思っているんですけどね。こういうのがいきつけになるんでしょね。「エンディングノート」というネーミングだと、ちょっと誰しもが「まだ早いんじゃないか」と思ってしまいうんじやないかと思いましたが、実際に拝見した内容は前向きで、マイナスのイメージは払拭されましたね。章ごとに書けるのもいいんじゃないでしょうか。

魚・肉・菜… 多彩な食材で綴る懐かしい思い出 木町通小学校同級生 オリジナルコース

昭和30年代、今とはまるで異なる食糧事情の中で育った木町通小学校同級生の皆さん。「一乃庵」では、当時の給食の思い出、木町通や広瀬川のイメージを、今だからこそ味わえるお料理にアレンジして表現しました。今まで、そしてこれから語り合う大切な時間が、「一乃庵」オリジナルコースで美味しく彩られますように。



【焼物】仙台牛ロースの陶板焼き
[エリンギ、赤黄ピーマン、青味野菜]
[焼き加減も味も丁度いいね] (佐藤)



【吸物】土瓶蒸(松茸、海老、銀杏、三葉)
[運ばれてきた途端いい香りがしました。とっても贅沢な気分] (遠藤)



【食事】穴子の手巻寿司
[盛りつけがきれいで、楽しみながら食べられますね] (遠藤)



【デザート】思い出のみつ豆
[くず餅、みつ豆、ミント]
[今でも特別な味に感じます] (佐藤)



厳選素材を活かした和のお料理に、料理長自ら工夫を凝らした特別献立。「一乃庵」では、お客様のご要望に応じてオリジナルコースをご提供しております。お気軽にお問い合わせください。



【前菜】じゆん菜の生雲丹添え、蟹棒書巻、帆立ペーコン巻、コーンカステラ海老、海月柚子胡椒和え



【酢物】水蛭、トマト、胡瓜、梅肉、ポン酢ジュレ
[酢のあんばいがかちょうど良いね] (佐藤)



【煮物】金目鯛、カリフラワー、アスパラ
[鯛もうまいし、にこごりが目に涼しいね] (白鳥)



【御造り】餅の薄造り(妻一式)
[これは新鮮。日本酒とよく合いそうだ] (笑) (白鳥)



0800-888-5777
www.seigetsuki.co.jp



- | | | |
|--|--|--|
| <p>富谷斎場 清月記
黒川郡富谷町廣乃社2-1-10
TEL: 022-348-5777</p> | <p>ぶつだんギャラリー中央 清月記
仙台市青葉区一番町1-1-6
TEL: 022-216-5777</p> | <p>ぶつだんギャラリー若林 清月記
仙台市若林区白萩町35-12
TEL: 022-283-5777</p> |
| <p>石巻斎場 清月記
石巻市南中里4-7-23
TEL: 0225-93-5777</p> | <p>ぶつだんギャラリー泉 清月記
仙台市泉区長命ヶ丘2-22-2
TEL: 022-378-7555</p> | <p>ぶつだんギャラリー石巻 清月記
石巻市大街道北3-3-8
TEL: 0225-23-5779</p> |
| <p>石巻大街道斎場 清月記
石巻市大街道北3-3-8
TEL: 0225-23-5777</p> | <p>ファミリーたいはく
仙台市太白区大野田袋前52-2
TEL: 022-247-4050</p> | <p>ファミリーながまち
仙台市太白区八本松1-13-6
TEL: 022-308-4050</p> |
- 清月記のオーダーメイドケータリングサービス
お問い合わせは
0120-08-1151 仙台市青葉区北沢2-6-18

仙台中央斎場 清月記
仙台市青葉区本町2-7-4
TEL: 022-715-5777

仙台宮城野斎場 清月記
仙台市宮城野区高砂1-4-5
TEL: 022-258-5777

仙台北斎場 清月記
仙台市青葉区北沢2-6-23
TEL: 022-272-5777

仙台東斎場 清月記
仙台市泉区泉中央1-30-1
TEL: 022-374-5777

仙台若林斎場 清月記
仙台市若林区志波町1-20
TEL: 022-238-5777

密葬館北斎場 清月記
仙台市青葉区北沢2-6-23
TEL: 022-272-5777

仙台北斎場 清月記
仙台市太白区鹿野3-4-13
TEL: 022-746-5777

仙台東斎場 清月記
仙台市泉区南光台南3-7-7
TEL: 022-308-5777

通夜・法事会場 仙台南斎場 清月記
仙台市若林区新寺4-4-1
TEL: 022-257-5777

密葬館石巻大街道斎場 清月記
石巻市大街道北3-3-8
TEL: 0225-23-5777

目で見て、耳で聞く。
インターネット版エンディングノート「エンディングバンク」
インターネットで記録する「エンディングバンク」では、記録したい年代当時の映像も登録してあり、動く、聞こえる「エンディングノート」を無料で利用できるようです。このパソコンで実際の場面をご覧ください。

佐藤 この映像懐かしいねえ。
遠藤 こうやって映像で見ると思い出しますね、昔のこと。
白鳥 これまでは漠然としてたけど、元気づちになっちゃった方がいいんだろな。
遠藤 みんな自分が死ぬとは意外と思っでないからね。
白鳥 気持ちの面では年とってるとつもりがないんだよな(笑)この「エンディングノート」「エンディングバンク」できちっとね、争いが後々ないように想いを残して。そうしたら、四郎君？
佐藤 仰る通りでございます(笑)

— 清月記・一乃庵では皆さんの思い出を表現した料理をお出ししていること、今回は思い出の木町通小学校



自然の柔らかな光を活かし、穏やかな気持ちで過ごせるようにと設計された会席場「クレストホール」。



「当時は甘いものが本当に貴重で、みつ豆なんて特に贅沢なものでした」(遠藤)



インターネットで簡単に登録できる「エンディングバンク」。当時の出来事を振り返る、懐かしい映像で盛り上がりました。

をイメージしたコースを準備していただきました。どうぞお召し上がりください。

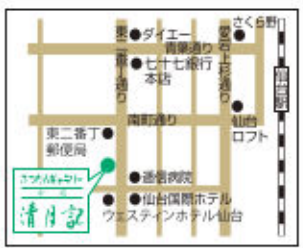
佐藤 いやあ、素材もよくて手が込んでて……全部美味しいね。
遠藤 バランスがいいですよ。一つひとつ丁寧で、若い方から年配の方まで楽しめるでしょうね。
白鳥 当時はコッペパンばかりだったな。脱脂粉乳が美味しくなかった(笑)人気があったのは「みつ豆」だよな。
佐藤 そうそう、年に一回、創立記念日にだけ出るのが楽しみで楽しみで。今でもこちそうですよ。
遠藤 わあ、話してたら出てきましたよ。
佐藤 いやあ、これは嬉しいね。懐かしい。
白鳥 これは次の同級会のいいネタになるな、絶対盛り上がるよ(笑)

この後も楽しい会話が続きました。
感謝。

清月記では「エンディングノート」の書き方セミナーを毎月開催しております。詳しくは下記をご参照ください。

仙台新斎場 清月記
仙台初の「通夜・法事」専門会館。少人数でのご食事から100名様規模のご会食まで、用途に合わせてお使いいただけます。

清月記グッドライフセミナー 「エンディングノートの書き方 ～ホシヤマ珈琲店の美味しいコーヒーとともに～」



- 日時/ 9月17日(月・敬老の日)、10月20日(土) 両日とも10:00～11:30
- 会場/ ぶつだんギャラリー中央 清月記 仙台市青葉区一番町1-1-6 (東二番丁通り沿い、仙台東二番丁郵便局ちかく)
- 参加費/ 無料
- 定員/ 30名
- お問い合わせ・お申し込み エンディングバンク推進室 ☎022-782-5750

エンディングノートとは、自分の生い立ちや家族へのメッセージ、自分の葬儀に望むことなどを書き記しておくノートです。清月記では「自分も用意したいが、どうすればいいのかわからない」「詳しい書き方を知りたい」という声にお応えして、エンディングノートの書き方セミナー(入門編)を毎月開催。参加された方には、清月記オリジナルエンディングノートを贈呈しております。

あなたのまちにも無料出張講座で伺います
お気軽にお問い合わせください